

# 酪農教育ファームを核とした地域交流

(香川県：有限会社 広野牧場)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○		○		消費者理解の醸成、人材育成

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：香川県木田郡三木町
- ・代表者：代表取締役 広野正則、広野豊
- ・飼養頭数：乳用経産牛約300頭、仔牛約60頭  
黒毛和種雌約20頭
- ・雇用者数：38名（R4.2時点）（パート含む）
- ・HP等：<https://www.hirono-farm.com/>



酪農教育ファームの様子

### <取組について>

#### ○ 概要

- ・酪農教育ファームとして牧場を教育の場として、地域の子供や一般消費者を受け入れ農業体験等の教育活動を実施（約500人/年）。また、加工体験施設を整備し、年間約40人のインターンシップによる酪農研修や、園児・学生を対象とした酪農体験の場を提供。
- ・地元のいちご農家とのコラボによる観光農園の設立や、ジェラート、ピザの製造販売など、地域交流に積極的に取り組むとともに、堆肥発酵機を使用し発酵させ、発酵温度を十分上げた家畜ふん尿の適切な処理と地域の野菜農家等への堆肥散布サービスを実施。
- ・広野牧場の堆肥を活用して生産した青刈りとうもろこし、稲WCSや、食品残さなどの地域資源を活用して製造したエコ飼料を飼料会社から購入（食品会社の残さ率約50%）し、給与飼料はほぼ全量TMR飼料を給与。
- ・資格取得制度を積極的に進めるなど、人材育成を強化。

#### ○ 成果

- ・地域での連携や交流に積極的に取り組むことにより、周辺住民に対する酪農の理解醸成が図られ、地域の食品残さを活用した飼料の利用など持続的酪農の経営を実践。
- ・堆肥散布サービスによる耕畜連携を通じた有機資源の有効活用。
- ・「経営の見える化」が図られ、従業員のモチベーションや定着率の向上に繋がっている。

